

CONTENTS

- ② 第19回鹿嶋市まちづくり市民大会
- ② これであなたも“鹿嶋人”！？
- ③ 市民センのひろば
- ③ 地域レポート・まちづくり探検隊
～地域の海をきれいに～
海岸清掃(清水)
- ④ INTERVIEW ROOM・きらり☆まちづくり
「鹿嶋市教育センター」
所長 札 敏夫 さん



市民大会 ～実行委員長あいさつ～



市民大会 ～まちづくり市民・団体表彰～



市民大会 ～萩元氏基調講演～



市民大会 ～コムプラ事例発表～



市民大会 ～パネルディスカッション1～



市民大会 ～パネルディスカッション2～

第19回 鹿嶋市まちづくり市民大会



このまちは過去の先人
たちからの贈り物

このまちは未来の子ども
たちからの預かり物

基調講演講師の萩元氏

テーマ：コミュニティプランを推進する「学びと実践」について考える ～地域の課題に寄り添う公民館～



2月5日（日）大野まちづくりセンター多目的ホールを会場に170名を超える参加者のもと第19回鹿嶋市まちづくり市民大会が開催されました。

新型コロナウイルスの影響のため3年ぶりの開催となった本大会では、サステナブルタウン代表萩元直樹氏の基調講演のほか、コミュニティプランの活動事例発表（波野地区・豊郷地区）、市民活動実践者等によるパネルディスカッションが実施され、参加者からは、「市民、行政、企業それぞれが協働することの大切さを再認識できた」、「学びほぐし（自分の考えを更新すること）が大事だとわかった」、「まちづくりは自分が楽しむ事だと気づいた」などの感想をいただきました。

【公民館の施設名統一についてのお知らせ】

「鹿嶋市まちづくり市民センター」はこれまで「鹿嶋市立中央公民館」との2枚看板で親しまれてきましたが、一方で利用者等からは名称の使い分けが分かりにくい等の課題もあげられていました。これを受け、令和5年4月1日から名称を「鹿嶋市立中央公民館」へ統一します。併せて、「各地区まちづくりセンター」も「各地区公民館」へ名称を統一しますが、各施設の機能・役割はこれまでと変わりありませんので安心してご利用ください。

これであなたも“鹿嶋人”！？

まちづくり市民センターでは鹿嶋に関する書籍「鹿嶋ものしりハンドブック」を、社会教育課では「鹿嶋市郷土かるた」を販売しています。このコーナーでは「鹿嶋ものしりハンドブック」や「鹿嶋市郷土かるた」からクイズを出題していきます！クイズに正解して、あなたも“鹿嶋人”を目指しましょう！

Q 鹿嶋の伝統食に関する問題です。昔から鹿嶋の家庭では、海で獲れたばかりの鰯と大根を組み合わせ、漬物を作っていました。11月下旬から12月にかけて漬け込み正月に食べ始めることが一般的だったそうです。その漬物の名前は何というでしょう。

A **ごさい漬**
昔の一般的な作り方は、新しい鰯の内臓をとり、よく洗い、そこに塩をまぶし、さらに重石をしてから2～3日漬けて置き、次に塩漬けた鰯を臭みが抜けるまで水で洗い、大根を切って樽に漬けます。20日くらいしたら発酵させるために日光の当たる所に2～3時間置くことができあがります。今では鰯の代わりに秋刀魚や塩鮭を使って作っている家庭もあります。



利用しています!!
しみせん の ひろば



月2回、仲間と太極拳の練習に励んでいます。ゆったりとした動きで足腰が鍛えられ、深い呼吸で心がリラックスします。休憩時のおしゃべりも楽しみです。

タイチーズ (太極拳)
島本 有子さん(宮中)



R3年10月に発足。先生不在でベテラン・初心者をお互いに教える英語サークルです。和やかなムードで笑いも多く楽しく勉強しています。

I hope you can speak English fluently.

Eメイツ
高橋 新子さん(鉢形)

団体紹介



クレイジー ジービー
「Crazy GBJ」

君和田 毅さん(田野辺)

第1・第3金曜日の13時から17時まで、まちづくり市民センターを拠点に、かしま灘楽習塾のウクレレ仲間、もっと練習したい人達が集まって創ったサークルです。参加人数は10人前後です。

ハワイの定番練習曲 Crazy G (クレイジー、ジー) を毎回練習して、その後それぞれの好きな曲を歌いながら弾いています。練習よりお茶の時間が長くなり、いつも和気あいあい楽しく集まって活動しています。

平均年齢は70歳を超える高齢集団で、脳トレと仲間づくりを目的にウクレレの練習に励んでいます。



▲日頃の活動の様子

地域レポート



まちづくり
探検隊

(vol.35)

～地域の海をきれいに～
海岸清掃 (清水)



清水地区では、約13年前から市の清掃事業に合わせて清水地区の住民が独自に海岸を清掃しています。

ところで、みなさんは海にどんなゴミがあると思いますか？流木や漁具、飲料のゴミが目立ちますが、それらのゴミの間にはたくさんのプラスチックゴミがあるほか、なんと注射器など海では絶対に出ないようなゴミもありました。

清水地区の住民の方に話を聞くと、ゴミを拾っても拾ってもキリがない、またすぐにゴミが漂着してしまう、と嘆いていました。遠目から見ると美しい海も、ヘッドランドなどの付近にはゴミが堆積しやすく、初めてこんなにゴミがあるのを目の当たりにし、私はとても悲しい気持ちになりました。

今回の海岸清掃では不燃ごみ袋が約120袋が用意されましたが、1時間程度の活動で120袋では足りないほどのゴミが回収されました。

また、活動中にはたまたま海岸清掃に居合わせた釣り人や、清水地区住民とつながりのある東京都世田谷区のサーフクラブの方たちも海岸清掃に協力するなど、心温まる場面も見受けられました。

今回の取材で、鹿嶋の海は地域住民の皆さん、また鹿嶋の海を愛する方たちによって、きれいに守られていることを実感することができました。

今年度の清水区の海岸清掃は終了しましたが、来年度も実施する予定です。当日の飛び入り参加は大歓迎とのことですので、みなさんの参加を心よりお待ちしております。

海岸清掃に関する問合せ先：82-3722 (清水区長 小原二郎)



▲清水地区の海岸に漂着したゴミ



▲たくさんのゴミが回収できました！

令和4年度 第5回市民カレッジ
「海洋プラスチックごみでコースター作り
～SDGsと鹿嶋の海ワークショップ～」

3月4日(土)に、海ごみクリエイターの松崎侑奈さんをお招きし、海洋プラスチックごみを素材としたコースター作りを通して、海の環境問題について学習する講座を実施しました。

砂浜に散乱したマイクロプラスチックの現状を知り、ごみを生まれ変わらせるアップサイクルの楽しさを体験することで、ごみを減らすための手段を考えていきました。



鹿嶋市立公民館HPをぜひ、ご覧ください！



ホームページはこちらから！



インスタグラムはこちらから！

きらり★まちづくり (vol.35)

～健やかな 鹿嶋っ子育成を～

鹿嶋市教育センター

所長 **札 敏夫** さん(宮中)



鹿嶋市教育センターの概要

鹿嶋市教育センターは、市内の子どもたちの健やかな成長と、先生方はもとより、保護者の方々を総合的・専門的に支援する施設です。

職員は15名で、保護者及び市内の教職員の支援をする「教育相談・教育指導グループ」と、より良い就学や支援方法等の情報提供や支援をする「就学相談グループ」と、様々な理由で学校に行くことができない児童生徒への支援をする「適応指導教室グループ」の3グループで構成されています。

元々はこの3グループが別々に活動していましたが、平成27年10月に鹿嶋市教育センターが開設された際に3グループが一緒になりました。「教職員にとって身近な市内で研修の場を担保すること」「子どもたちや保護者たちにとって、創造力や自立を養うための接点となり得る場であること」をコンセプトに、一言でいうと「つなぐ」ことを強く意識している施設です。

現在は年間6,000名以上の方が利用しています。

子どもたちの現状

この1,2年で感じることはやはりコロナの影響です。2021年度

茨城県内の不登校児童生徒前年度比+40.8%で、鹿嶋市でも同じ傾向が見られます。

新型コロナウイルスの影響で鹿嶋市においても休校、リモート学習、発熱による出席停止措置等の対策がとられました。このように「登校を控える・登校をしない」ことが不登校児童生徒が増加した一因だと思います。ただ、適応指導教室に通所している子どもたちや登校している児童生徒の様子を見てみると、制限された生活の中でコミュニケーションを図ったり、集団生活を楽しむための工夫を考えたりするなど、今ある環境の中で生活する術を見出そうとする子どもたちには感心せざるを得ません。

また、昨年度、市の教育委員会から「chrome book」という電子タブレットが全児童生徒へ配布されましたが、端末上でできることと、登校しないとできないことを明確にしたうえで、登校することの良さを知っていただきたいですね。

教育現場の現状

現在、教育現場は「教職員の働き方改革」ということにスポットが当てられています。一般的には、超過勤務時間をいかに減らすことができるかにフォーカスが当てられていますが、そ

うではありません。子どもたちと向き合う時間をしっかり確保すること、授業づくりに一層時間を傾けること、そして今後の時代を担う若者たちに「教職」が魅力ある職業であることを知っていただくことが大事です。

個人的には、働き方改革というよりもやりがいを見つける改革「働きがい改革」であってこそものではないでしょうか。

生き生きとした教育現場を提供することが子どもたちにとっても、保護者・教職員にとっても不可欠なのではないかと考えます。

今後の抱負

退職後、縁あって鹿嶋市教育センターでの職務に携わらせていただいています。抱負というよりは、今ある立場で出来ることはなにか、それを常に意識しています。

最も強く願うことは、次世代を担う子どもたちが鹿嶋市で育ちながら、夢や希望をたくさん持ってほしいということです。

学業でもスポーツでも芸術でも良い。好きなことを伸ばしていけるよう、そのためのお手伝いを少しでも続けていきたい、それが今私が考えることです。

活動風景



▲通所している子どもたちの畑



▲教職員研修の様子

PROFILE

■ふだ としお

- 鹿嶋市宮中在住
- 元鹿嶋中学校長（令和2年度まで）
- 趣味
スポーツ観戦、ウォーキング、家庭菜園
- 座右の銘
不撓不屈